



2006年4月20日

各位

会社名 株式会社ディー・ディー・エス  
代表取締役社長 三吉野 健滋  
(コード番号 3782 東証マザーズ)  
問合せ先 管理本部長 藤浪 育夫  
(TEL 052 - 533 - 1110)

指紋登録率100%の新製品：USBメモリ型指紋認証ユニット「UBF - mini」を発売。  
同時に新販売体系を導入し収益力向上へ。

バイオメトリクスのリーディングカンパニーを目指す株式会社ディー・ディー・エスは、  
USBメモリ型指紋認証ユニット「UBF - mini」を5月中旬に発売開始致します。

従来製品の指紋認証ユニット「UBF - blue」と合わせ、高性能かつ利便性の高い生体認証  
セキュリティシステムを官公庁、企業に提供し、2010年には400億円規模に成長す  
ることが予想されるバイオメトリクス市場における当社の地位をさらに強固なものとする  
ことを目指します。

また「UBF - mini」発売と同時に、新たにライセンス販売体系を導入。安定した売上高の  
確保と利益率の向上による収益力の強化を図ります。

#### **「UBF - mini」の概要・特徴**

##### 確実な本人認証・導入負担の軽減

パソコンのUSBポートに差込み、OSや業務システムへのログオン時に指紋による個人認  
証を行います。従来の「ID + パスワード」やICカードの利用に比べ、「なりすまし」  
がされにくく、確実な本人認証が可能です。

また、複雑なパスワードの記憶や書きとめの必要がなく、利用者や管理者の負担を軽減で  
きます。

##### さまざまな利用形態に対応

従来製品のUSBケーブル接続タイプの指紋認証ユニット「UBF - blue」をデスクトップ

PC用、軽量、コンパクトな「UBF - mini」をノート、モバイルPC用と、ラインアップを拡充し、ユーザーのさまざまな利用形態に対応できるようになりました。

#### 指紋登録率100%

既存の指紋認証システムにおいては、乾燥や手荒れなどのために指紋が登録できず、認証システムを使用することができない人が1 - 3%程度の割合で発生していました。1000人規模の組織においては10 - 30人が指紋登録できないこととなり、管理者はそれらの人員に対し例外的な措置を講じざるを得ず、認証システムそのものの有効性を損ない、管理社の負担も増加させてしまう結果となってまいかねませんでした。

「UBF - mini」では、名古屋工業大学の梅崎教授との産学連携により開発した周波数解析法を採用。これによって従来では考えられなかった100%の指紋登録を実現しました。

#### 高いセキュリティを保持

万一登録データが盗難された場合も、データには指紋の画像そのものではなく特徴情報のみが登録されているため、その特徴情報からの指紋画像の再生は原理上不可能であり、高いセキュリティを保持できます。

#### メモリ機能により指紋情報を内蔵

指紋登録や照合を行うアプリケーションを本体のメモリに内蔵し、利用者の指紋情報も内蔵メモリに保管されるため、個人の指紋情報を本人が管理できます。指紋という極めて個人的な情報を会社や他人に一括管理されることへの抵抗感を払拭できます。

#### 初年度売上高6億円を目標

価格は1ユニット23,000円(税抜き価格)で、SI事業者などを通じて販売し、初年度の売上高は6億円を目標としています。なお、これに伴う平成18年度12月期の業績予想の修正はございません。

#### **収益力の強化**

前述のように新製品「UBF - mini」の発売と同時に、新たにユーザー数とサポート期間をベースとした「ライセンス販売価格」を設定しました。

新世代の指紋認証ソリューションを導入しやすいよう、シンプルでコストパフォーマンスに優れたライセンス体系となっています。

このライセンス体系の導入により、単に指紋認証ユニットの販売だけではなく、安定的な売上高の確保と高い収益性による収益力の強化を見込むことができると考えています。

加えて、今後はASP(アプリケーション・サービス・プロバイダ)方式でのサービス展開

も検討中です。

セキュリティニーズが高まる一方でコストや管理負担の関係から導入のハードルが高い中小企業を対象に、「低価格」、「即時導入可能」、「ID、パスワード不要」な「高性能」の指紋認証システムをASPによって提供するものです。

全国200万社ともいわれる巨大な中堅・中小企業マーケット開拓にも積極的に取り組んでいく考えです。

## 今後の戦略

当社は今後、バイオメトリクス事業において以下のような事業戦略を推進し、「全ての指紋認証市場へ対応」する体制を構築。世界的なバイオメトリクスのリーディングカンパニーとなることを目指してまいります。

### 1. 指紋認証機能組み込みビジネスの促進

- ・ 様々な工業製品に指紋認証を組み込むための標準モジュールを開発
- ・ 情報機器のみならず住宅ドア、自動車などあらゆる業界に指紋認証採用を提案

### 2. サービスビジネスの立上げ

- ・ 月額課金モデルによる生体認証ビジネス（ASPサービス）
- ・ 生体認証トレーナー育成コース（教育サービス）

### 3. マルチデバイス対応およびOEM/ODM

- ・ 自社またはパートナーとの新型指紋認証ユニット開発
- ・ 指紋センサーメーカーとの協業により様々な生体認証機器への対応

### 4. 世界市場への挑戦

- ・ 日本オリジナルの技術をローカライズ。世界市場で販売開始。
- ・ 海外パートナーの開拓。指紋認証組み込み技術の提供。

以上